

## 専門家による初心者向け日本語講座（県モデル事業）

### 【事業概要】

日本語初心者の外国籍県民等を対象に、体系的な初期段階の日本語指導、生活オリエンテーション等を組み込んだ短期集中型の日本語講座「はじめてのにはんご」を将来的に市町村でも実施可能となるようモデル事業として実施し、生活に必要な日本語の習得を目指す。

また、学習者が遠くて通えない場合や新型コロナウイルス感染症の影響により対面での日本語講座が難しい場合があるため、令和3年度は、ICT等を活用した環境づくりの一環として、オンラインによる講座も実施。

### 【県央地域の講座事例】

#### <実施形態>

主催：神奈川県、共催：海老名市、座間市、綾瀬市

#### <実施時期・回数>

令和3年8月23日～11月8日 レベル1 全20回程度（週2回、10:00～12:00）

令和3年11月22日～令和4年2月7日 レベル2 全20回程度（週2回、10:00～12:00）

※ レベル1 はじめて日本語を勉強する外国籍県民等

レベル2 ひらがな・カタカナを読むことができる外国籍県民等

#### <定員>

レベル1・レベル2とも各20人程度（新型コロナウイルスの感染状況に応じて調整）

#### <内容>

- ・ 令和2年度に策定したカリキュラムを地域の実情に応じて改編し、初心者向けの短期集中型の日本語講座を複数の市町村の協力を得てモデル的に実施する。地域のボランティアによる日本語教室への橋渡しやボランティアのモデル事業への協力も想定している。
- ・ オンラインの活用も検討しながら、体系的な初期段階の日本語指導、生活オリエンテーション等を組み込んだ講座とする。
- ・ 専門家（日本語教師）1人、サポーター1～2人の実施体制で行う。

#### <教材>

「新装版いっばにはんごさんぽ 暮らしのにはんご教室 初級1・2」（発行：スリーエーネットワーク）

#### <市の役割分担>

- 広報
  - 市広報誌、多言語情報誌を通じた募集
- 生活オリエンテーションへの協力
  - 地域の実情に応じた情報提供となるような内容の企画・調整、市職員の参加等
- 市内のボランティアによる日本語教室との連携
  - ・ ボランティアによる日本語教室に通う外国籍県民等に本講座を紹介
  - ・ 地域の日本語教室の紹介や相談等の場の設定を本講座で実施 等

### 【オンライン講座事例】

#### <実施形態>

主催：神奈川県

#### <実施回数>

令和3年11月～令和4年1月（予定） レベル2 全20回程度（週2回、10:00～12:00）

#### <定員>

レベル2 20人程度

#### <内容>

- ・ 基本的に対面講座と同じレベルをオンラインで実施

#### <教材>

「いろいろ 生活の日本語 入門・初級」（制作：国際交流基金）